

宇治のNPO法人アジール舎

10周年『広がり』さらに

児童デイや
相談支援 **地域で居場所づくり**

発達につまずきを持つ子供たちの療育支援などを担うNPO法人アジール舎(亀口公一会长)が法人設立10周年を迎え、宇治市榎島町大幡にある法人の活動拠点「ころぼっくるの家」で5日、記念セレモニーを開いた。

同法人は子供の療育支援や、障害の有無にかかわらず特別な発達相談支援、学習に特別なニーズを持つ児童と保護者向けの親子塾などに取り組む。

2007年8月、ころぼっくるの家で発達障害児らの通所施設「児童デイころぼっくる」を開始した。昨年8月に、

指している。セレモニーには会員を中心に約50人が参加し、法人の10年を振り返って、自由に思いを語った。ハンディや課題を持った子供の表情や、見ている世界を映した10周年記念ビデオ「まなざしー子どもたちが映す世界」を上映す

ぶりんぐの見学に続いて、近くの妙光寺で懇親会を開いた。法人の節目に、会長の亀口さんは「広がり」ができ、やりがいや明るい未来の展望が見えてきた」と回顧。今後について「子供の支援に加え、生きにくさを感じる若い人が自分を取り戻せたり、ゆっくりに居場所をつくれたら」という。

同法人では近く、10周年記念誌も刊行する予定だ。

【写真】アジール舎の10年の活動を振り返る亀口さん(左)

